

科目名	保育実習指導 3 (保育士必修)		
授業形態	演習	学年	2
開講時期	2021 年度 後期	単位数	1
担当教員	市川 和彦、鈴木 勲		
内容および計画	<p>本講義では、以下の点について理解することを目標とする。</p> <p>1 児童福祉施設（保育所以外）、その他社会福祉施設の養護を実践に実践し、保育士として必要な資質・能力・技術を習得する。</p> <p>2 家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を養う。</p>		
1	実習計画書の作成（1）		
2	実習計画書の作成（2）		
3	部分実習実技（1）		
4	部分実習実技（2）		
5	指導案作成（1）		
6	指導案作成（2）		
7	実習体験のふりかえりと課題の整理（1）		
8	実習体験のふりかえりと課題の整理（2）		
9	実習体験のふりかえりと課題の整理（3）		
10	実習体験のふりかえりと課題の整理（4）		
11	実習報告書の作成・課題研究、事例研究まとめ（1）		
12	実習報告書の作成・課題研究、事例研究まとめ（2）		
13	実習報告書の作成・課題研究、事例研究まとめ（3）		
14	実習報告書の作成・課題研究、事例研究まとめ（4）		
15	実習報告書の作成・課題研究、事例研究まとめ（5）		
<b>教科書</b>			
	タイトル	著者名	出版社
			ISBN
			発行年
<p>保育実習 I a にて使用した下記のテキストを継続使用するので、毎回持参すること。</p> <p>1) 福島県保育者養成校連絡会 『保育実習の手引き』</p> <p>2) 福島県保育者養成校連絡会編 『福島県保育実習施設』</p>			
参考書			
<b>成績評価</b>			
	評価方法	割合(%)	
	実習先評価	60	
	受講態度（教員評価）	20	
	提出物	20	

学習到達目標	児童福祉施設の保育士、児童指導員、家庭支援専門員、コメディカルスタッフ等の他専門職との連携・協働による保育・支援について理解できた。
先修条件	
実務経験	実務経験あり：障害児入所施設に4年、障がい者支援施設に8年、児童養護施設に3年身を置きケアワークに従事してきた。
その他	保育実習Ⅲも併せて必ず登録してください。